

令和元年度 薬学部卒業生就職先へのアンケート調査結果について

1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

令和元年 9 月 10 日に開催された教学運営会議にて、教育成果の可視化、活用および情報の公開について一層の充実を図ることが承認され、指標の一つである卒業時・卒業後アンケート結果を実施・公開することとなった。ここでは、その内卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師として従事している医療機関等に対して行ったアンケート結果について報告する。

2. 概要

調査対象 平成 29 年度、平成 30 年度卒業生が薬剤師として従事している医療機関等
(調査対象数： 49)

調査期間 令和元年 9 月 13 日 (金) ～9 月 30 日 (月)

実施方法 インターネットを利用した Web アンケート

質問内容 ①学部ごとの学位授与方針 (DP) に対する本学卒業生の実態について
②本学の教育に求める内容について

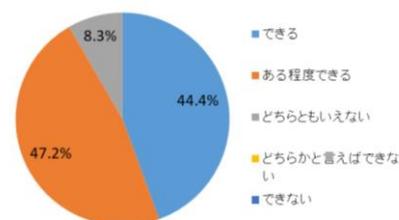
3. 結果

回収率 73.5% (36/49)

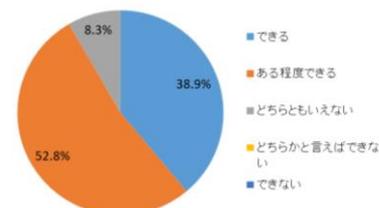
協力機関 ウエルシア薬局株式会社、株式会社サカモト、アイングループ、株式会社ファーマみらい、八戸市立市民病院、シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社、医療法人友愛会 盛岡友愛病院、市立秋田総合病院、日本調剤株式会社、自衛隊、みなとや薬局、株式会社アオキファーマシー、八戸赤十字病院、手稲溪仁会病院、株式会社ワークイン 株式会社サノ・ファーマシー、サンドラッググループ (株)サンドラッグ・(株)サンドラッグファーマシーズ)、クオール株式会社、いまいメディカルグループ、株式会社 薬王堂、クラフト株式会社採用推進室、株式会社ライプリー、函館五稜郭病院、マツモトキヨシグループ、盛岡赤十字病院、株式会社アイセイ薬局、ラッキーバグ株式会社、中田薬局 (匿名希望機関を除く)

Q 1. 岩手医科大学薬学部では、以下の 10 の資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関で研修した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

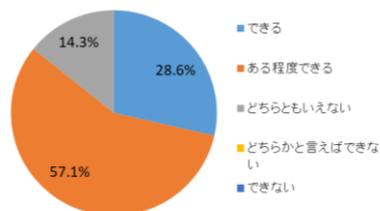
① 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。



② 医薬品を理解して適正に取り扱う。



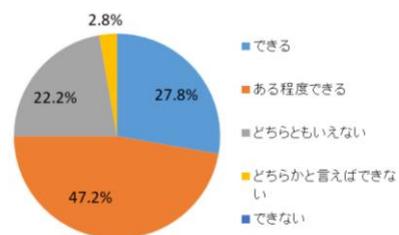
③ 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。



④ 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。



⑤ チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。



⑥ 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。



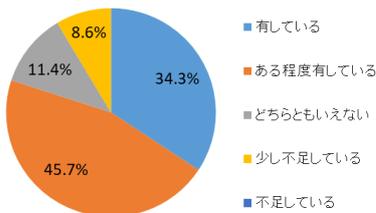
⑦ 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。



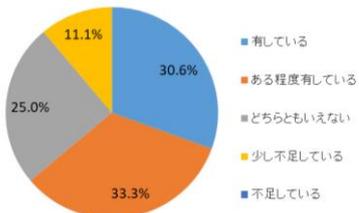
⑧ 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。



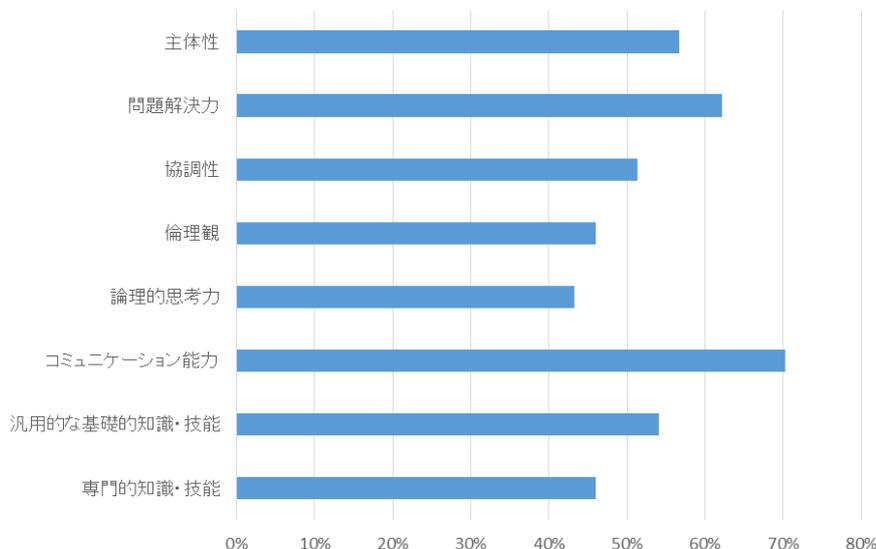
⑨ 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。



⑩ 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。



Q2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



その他

- ・医学部、歯学部、看護学部を有する総合医療大学ということで、他大学の学生が何を学んでいるのか知ること、免許取得後、現場での連携に生かしてほしい。

Q3. その他、ご意見等ございましたらご自由に記載してください。

- ・個人差や年次による経験の差もあり「ある程度・・・」の回答が多くなってしまいました。
- ・4月に入職して6か月たつところでもなかなか把握しきれていない現状。実務実習で受け入れた学生であったが、実習時とスタッフとして責任が伴う実務につくことのギャップに少し悩んでいる様子。問題点を抽出して本人と共有して今後進んでいきたい。
- ・まだ採用人数が少ないですが皆さんとても頑張ってくれています。
- ・目標とする人を具体的に思い描いてほしいです。
- ・貴学卒業生は優秀な方が多いと感じております。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・就職イベント参加者の中に、明らかに交通費目当てで、遅刻してくる学生がいたことが非常に残念でした。
- ・岩手医科大学卒業生は弊社においても数、質ともに中核をなしていただいております。コミュニケーション能力、主体性、このあたりは多くの薬剤師に足りない部分かと思うので、会社に入ってから指導はしたいと思いますが、学生時代から学んでいただけるとよりよいのではないかと考えております。引き続きよろしくごお願い致します。

4. 総評

学位授与方針で定めた資質に対して、「医療人としての倫理観や態度」「医薬品の理解」「法律等の理解および患者さま等への説明」といった態度・技術などを有しているという回答が多かった一方で、「ファーマシューティカルケアを実践する能力」「研究に必要な基本的知識・技能・態度」「科学的・論理的に問題解決を実践する意欲・態度」「医療人を育成する意欲・態度」などは「どちらともいえない」以下の回答が多かった。

本学学生に求めるものとしては、70%近い医療機関等が「コミュニケーション能力」を求めており、次いで「問題解決力」「主体性」「汎用的な基礎的知識・技能」「協調性」を求める医療機関等が50%以上に上った。

Q1の資質に関するアンケート結果も踏まえると、薬学部を卒業した学生は医療人としての態度、技術、専門的知識といった能力を身に付けていると考えられる一方で、コミュニケーション能力・問題解決力・汎用的な基礎知識といった社会人として求められる能力・態度（ジェネリックスキルと考えられる）や、薬学の進歩・発展に貢献するための意識・能力等について、改善の余地があると思われる。